一般社団法人　勝浦市シルバー人材センター

あじさい

第34号
2020年1月



会員親睦旅行（茨城県つくば市内観光）

自然環境を　守り育てる人づくり
残そう知識と経験　次世代に

新年のご挨拶



会長
松崎　己美

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様には、健やかに輝かしい新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年は、勝浦市をはじめ関係先の皆様方には、格別のご指導とご厚情を賜りましたことに心より厚くお礼を申し上げます。

当センターの事業実績は、会員皆様の日頃からの誠意ある就業努力と発注者皆様のご理解により、前年度を上回る実績で順調に推移しております。

これもひとえに会員皆様のご支援、ご協力の賜物と心から感謝を申し上げると共に厚くお礼を申し上げます。

さて、全国的にも少子高齢化が益々進み、人口が減少している中で、働く意欲のある高齢者が活躍できる「生涯現役社会」を実現することが重要となっております。少子高齢化に伴う労働力人口については、働き手の中心となる生産年齢人口が急速に減少しており、今後も減り続けることが予想されております。

全国的にもシルバー人材センターの会員数は毎年減少している状況にあり、当センターにおいても、会員数はここ数年百五十人前後で推移していますが、活力ある運営を行うには組織の基盤となる会員の増強を課題としてとらえ、新規会員の確保、拡大及び入会促進の事業を推進し、地域における存在意義を高めていかなければなりません。

一方、高齢者の社会参加や就業促進の一翼を担うセンター事業の役割は益々重要度が増すとともに、今後はその成果を求められていく段階に進むものと考えられます。

今年度もセンターの基本理念のもと会員、役員、事務局が一丸となり、地域の活性化を目的に会員の増強や就業機会の確保、組織運営体制の整備等を着実に進めていくことにより、発注者の皆様からより信頼されるシルバー人材センターを目指し取り組んでまいります。

当センターは、生涯現役社会の実現に向けた役割を自覚し、地域社会からの期待に応えてその存在意義を高め、積極的に事業を推進していく所存でございますので、会員の皆様のご理解、ご協力を今まで以上にお願い申し上げます。

結びに、本年も安全な就業を目指し、健康に十分留意されまして、笑顔で楽しい就業ができますようご多幸をご祈念申し上げまして、新年のご挨拶といたします。

新年のご挨拶



勝浦市長
土屋　元

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様には、輝かしい新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

また、平素は高齢者雇用施策をはじめ、市政全般にわたり格別のご理解とご協力をいただき、心から厚くお礼申し上げます。

勝浦市シルバー人材センターにおかれましては、活力ある高齢者社会を支える地域の中核的な組織として、地域に密着し地域の多様なニーズに応えつつ、就業を通じて高齢者の健康維持や社会参加に大いに寄与されるとともに、地域社会の活性化、福祉の向上にも貢献していただきまして深く感謝申し上げます。

さて、全国的な人口減少と少子高齢化の進展により、地域における生活環境も大きく変化し、地域経済において重要である労働力人口も減少しております。このような状況のなか、一億総活躍社会を目指し、意欲あるシルバー世代が「生涯現役」として活躍できる働き方が推奨されており、シルバー人材センターへの期待は益々大きなものになると考えております。

人生百年時代を迎えるなか、日本は健康寿命が世界一であることから、時代の要請として、会員の皆様には豊富な知識や経験、技能を活かしながら、元気いっぱいで地域社会の活性化に貢献されますことを大いに期待しております。

市といたしましても、心と心のふれあいを大切にしながら、誰もが安心していきいきと暮らせる地域社会の実現を目指してまいります。

結びに、勝浦市シルバー人材センターの益々の発展と会員の皆様方のご健勝とご活躍を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

かつうら魅力市に参加して

市民が楽しめる賑やかな魅力ある街づくりをテーマとして、2019『かつうら魅力市』が十一月二日（土）に勝浦中央商店街内を会場として開催されました。



豪快な踊りです

当日は五十店を超える店舗の出店があり、市内及び県内出店団体による地場産品の販売、産業PR、勝浦市と友好都市の紹介コーナー、ステージパフォーマンスなど盛大で賑やかなイベントとなりました。

シルバー人材センターは、会長、総務・企画部会員及び事務局の六名が参加して、啓発と地域活性化の取り組みとして、ポケットティッシュ、会員募集チラシを配付しPR活動を図りました。

当日の朝は少し肌寒い気温でしたが、お昼頃からは温かくなり、天気にも恵まれたイベント日和でした。また、前髙梨会長を始めとする会員の方々も立ち寄っていただき有意義な一日となりました。

参加して下さった総務・企画部会員皆さんのお力により当センターの広報活動ができましたことに感謝いたします。一日お疲れ様でした。



土屋市長の挨拶風景



カッピーも会員になりますか？

今回の出展により、今後、当センター利用のお客様の増加や入会会員の増加に繋がることを期待したいと思います。

安全パトロールの実施

安全・適正就業部会及び安全委員会合同による安全パトロールを昨年は2日間、就業現場の視察を実施しました。

・9月19日　観光道路草刈作業（官軍塚灯台線）
・9月27日　鵜原理想郷周辺草刈作業

作業場所は広範囲であり、声掛けして安全な就業に努めるようお願いしました。



官軍塚公園草刈業務（女性会員が活躍しています）

親睦旅行

茨城県つくば市内観光

今年の親睦旅行は、千葉県の隣接県でありながらここ数年、旅行していなかった茨城県に行ってきました。毎年恒例の親睦旅行は十一月二十二日に実施し、二十九名が参加しました。

早朝より各々の乗車場所で待っていた参加者全員がバスに乗車して、目的地のつくば市に向かいました。



展示館「スペースドーム」

当日は、肌寒く雨が降っていてあいにくの天候でしたが、予定どおり最初の見学先の(有)筑波ハムに立ち寄りました。

皆さん「つくば豚」をご存じでしたか？　畜産農業と科学が共存するつくばならではのブランド豚で、深みのある味わいが特徴的で、そのおいしさを最大限に活かしたハムやベーコンを作っているのが「筑波ハム」だそうです。

今回は、筑波ハム直売所「つくば陣屋」で気軽に工場見学後、絶品ハムを試食三昧しました。

美味しそうな筑波ハムを思い浮かべながら、昼食の時間となり、参加者皆さん揃って、和気あいあいと昼食を食べました。

次の見学先は筑波宇宙センターでした。筑波宇宙センターは筑波研究学園都市の一画にあり、昭和四十七年に開設したそうです。

敷地は約五十三万平方メートルと広大な土地で、日本で最大規模の宇宙航空開発施設の一部をガイド付きで見学しました。この見学ツアーには飲酒した人は参加できないという制約があったため、お酒好きの参加者にはツアー終了まで飲酒を我慢していただきご迷惑をお掛けしました。


宇宙航空開発施設の見学

見学コースはバスでの移動により、管制室や宇宙飛行士養成エリアなどの普段目にしたことのない宇宙を創造するに相応しいものが見られ驚きの連続でした。

又、当センターの正面近くにあるロケット広場には、全長約五十メートルもあるH－Ⅱロケットの実機が展示されていて、実際に見たロケットの大きさ、迫力に感動しました。


昼食の様子

筑波宇宙センターを後にして、最後に発酵食品を取り揃えた道の駅「発酵の里こうざき」に立ち寄り、地元勝浦に無事に帰ってきました。



センターの動き

令和元年

●七月
- 第2回会報編集委員会（12日）
- 第2回派遣事業運営協議会（26日）
- 第3回理事会（31日）
- 安全適正就業部会及び安全委員会合同会議（31日）

●八月
- 会報「あじさい」第33号発行
- 上総地域協議会（8日）
- 市議会議長に支援要望活動（20日）
- 勝浦市長に支援要望活動（21日）

●九月
- 第1回安全パトロール（19日）
- 第2回安全パトロール（27日）

●十月
- 第2回総務・企画部会（2日）
- 県連合会第1回事務局長会議（3日）
- 第3回会報編集委員会（23日）
- 上総地域協議会（29日）

●十一月
- かつうら魅力市参加（2日）
- 親睦旅行（22日）
- 第4回理事会（27日）



昨年の四月から臨時職員になりました杉﨑友香さんに、センターの事務に就いた抱負を聞いてみました。

「子育てをしていた私の背中を押してくれたのは、義父母でした。」

義父母の協力のもと、ハローワークに足を運んだところ、受付の人から【勝浦市シルバー人材センターの求人があり一押しですよ。】と言われ、神様が私の背中を押してくれていると感じました。

でも、私の心の中では、シルバーと思えるのは（両親＋義父母＝シルバー？）でしたが、いざシルバー人材センターで会員の皆様に接すると、今までの考えていたシルバーの域をはるかに越える位、元気に溢れ、仕事でもパワー溢れる姿を目の当たりにしました。

私の体力なんかよりも、とてつもないパワーの会員さん達に尊敬しかありません。

例えば、お客様の名前、住所、仕事内容を会員さんにお伝えすると、一回以上作業をしている現場なら、「分かる現場だから大丈夫だよ」と頼もしい返事をいただき「すごい記憶力だなー」と感じます。

作業現場を見させていただいた時も、ひょいと軽やかに崖に登ったり、草刈機の扱いに手慣れている姿を見て、毎回、惚れ惚れしています。

女性会員さんも男性会員さんに負けない位の仕事内容に、日々尊敬と憧れを抱いています。

会員の皆様、スタッフの皆様に勝浦市の良さを教えていただいて、勝浦市のご案内が少しずつできるようになってきました。私の大きな財産となります。

人生の先輩方から大きなパワーをもらい、（母、妻、嫁＋シルバー人材センター臨時職員）の両立をひよっこパワーで頑張りますので、皆様の温かい力で私の背中をグイグイ押してください。今後ともよろしくお願いします。



当センターをご利用されているお客様からお礼の手紙をいただきましたのでご紹介します。

「年二回、援助を得て、すがすがしい環境としていただいています。」という内容で、お礼の気持ちを込めて川柳を一句詠んで下さいました。

「シルバーをゴールドにする仲間たち　シルバーも出来る仕事で仲間入り」

当センターの今後の励みになります。今後もご依頼をお待ちしています。





会員募集

会員を募集しています。

シルバー人材センターでは、会員を募集しています。

近所の方やお友達などに積極的に声をかけて、勧誘に努めて下さるようお願いします。

市内在住で六十歳以上の方が対象です。男女を問いませんので、健康で働く意欲のある方の入会をお待ちしています。

センターでは入会申し込みを随時受け付けています。



○会員数の推移

年度	年度末会員数
15	210
16	189
17	166
18	152
19	151
20	153
21	164
22	159
23	153
24	147
25	150
26	153
27	151
28	152
29	152
30	156
元年（11月末）	144

入会会員紹介

～よろしくお願いします～

（令和元年六～十一月）

松岡　治子（勝浦一班）
末吉　信弘（上野一班）
竹内　貞幸（勝浦二班）
高橋　吉栄（勝浦三班）
根笹みや子（勝浦二班）
三上　昌光（興津二班）
黒木勢津子（勝浦一班）

（敬称略）

編集後記

昨年は、九月に発生した台風十五号の影響により、千葉県を中心に人的被害、建物被害、停電、水道の断水、倒木など数々の甚大な被害がありました。

更に十月の台風十九号及び低気圧に伴う記録的豪雨が追い打ちをかけて、より広範囲な地域での甚大な被害が発生し、今年も台風の猛威が心配されるところです。

さて、今年は、いよいよ東京オリンピック・パラリンピックが開催される年であり、日本にとって大きな節目となり記念すべき年となります。

令和になって初めての正月を迎えましたが、干支は十干が「庚」、十二支は「子」になり、「庚子(かのえね)年」です。

「庚子年」は動きがあり、新しいものを作ろうとする年とされていますので、会員の皆さんも新しい運気の始まりと捉え、就業も日常生活も新しい気持ちを持って過ごしていただきたいと思います。

今年も安全な就業に心掛け、普段から体調に気を配り、健康管理に十分努めましょう。



会報編集委員会
委員長　積田　行雄
副委員長　野村　知里
委員　関　茂子
加藤せつ子
酒井江美子
菅根　光弘

編集・発行 / 一般社団法人 勝浦市シルバー人材センター
〒299-5231 千葉県勝浦市沢倉 515 番地の 2 TEL 0470-70-1313 FAX 0470-73-6210　E-mail/katsuura@sjc.ne.jp